

人文学部卒業研究

題目 マンガ『FAIRY TAIL』に
描かれた友情

指導教授 小川順子 印

提出年月日 2018年 12月 17日

学籍番号 HI15054

氏名 松田光

お願い

本卒業研究は、著作権の関係上、指導教員または執筆者本人の許可を得たうえでの閲覧のみを許可し、複写およびPDF等によるデータの受け渡し等は、一切禁止する。

万が一、禁止が破られトラブルが発生した場合、本卒業研究の関係者は一切の責任を負わない。

何卒ご了承ください。

マンガ『FAIRY TAIL』に描かれた友情

HI15054 松田光

要旨

本研究ではマンガ『FAIRY TAIL』において友情とはどのようなものなのかを分析していく。マンガから友情観を分析することで多くの人が持っている友情も明らかに出来るようになる。マンガのなかで特に、たくさんの人が読み人気のある『FAIRY TAIL』は友情が多く描かれている作品で魅力があるので分析対象にする。

各話から友情の描かれている部分をまとめる。次にキャラクター同士の関係性を調べ友情の形成に関わっている部分を抜き出す。共通する部分と、そうでない部分をカテゴリー別に分け、友情の種類や形を見ていく。

本論の構成は以下のとおりである、第一章では友情について、本論で適用するものを説明する。第2章では、マンガ『FAIRY TAIL』についての概要や主要キャラクターを説明する。第3章では、マンガ『FAIRY TAIL』に描かれた友情のシーンを抜粋していき、そこに描かれた友情とは1章で説明した友情のどれにあたるのか分類する。その上で、分析していく。

第1章では、ヘルプ・ゴールドバグによる三つの段階に分けた友情を本論で使用していく。その友情の三つの段階は、第一の段階が「役立つ友情」といい、どんな理由にせよ双方に有利なことや有益なことをもたらしてくれる限り、繋がっている友情をさす。第二の段階は「目的志向の友情」といい、特定の目的の下で、一緒に楽しむための関係の間で発生するものである。第三の段階は文字通りの「友情」といわれ、特定の目標、目的、利用を追い求めることなく、ただ何かの機会に知り合っ、互いによく熟知し合った友人のことである。この関係の中の利害は伴わず、ただそれ自体が目的になっている。上述のように本研究では、『FAIRY TAIL』に表れる登場人物の友情がどの段階の友情に当てはまって居るかを見ていく。

第2章で紹介するマンガ『FAIRY TAIL』の主人公と登場する人物の多くは魔法を使い魔導師と呼ばれている。ギルドは一種の組合の事で魔導師が所属しており、様々な依頼、仕事を請け負い報酬を得る組織である。

第3章で分類した結果、フェアリーテイルは第二の友情と第三の友情が多く、第二の友情は集団、第三の友情は個人との関係で生まれることが分かった。

結論としてフェアリーテイルは集団に所属し、承認されたいという欲求とそれが素晴らしいことであるということを支えに、ナツ達が冒険して絆を深めていく物語だったといえる。

フェアリーテイル以外のマンガにも友情が描かれている作品は多くあり、『ワンピース』でも友情が一つの要素としてストーリーに影響を与えている。フェアリーテイルの分析からその他のマンガでも共通した友情の特徴が見られるのかが今後の課題になる。

キーワード

『FAIRY TAIL』 友情 仲間 集団 個人

目次

序論.....	1
第1章 友情について.....	1
第2章 マンガ『FAIRY TAIL』について.....	2
2-1 『FAIRY TAIL』の概要.....	2
2-2 キャラクターの能力と性格.....	3
2-3 キャラクター同士の関係.....	4
第3章 マンガ『FAIRY TAIL』に描かれた友情.....	4
3-1 友情が現れた時の内容と友情の種類.....	4
3-2 分析結果.....	17
結論.....	18
参考文献.....	19